

7歳の壁を越える

田口 貴春

岡山D&Lスクール代表

2019・11・29

岡山D&Lスクールの基本的コンセプト

1. 筋道を立てて考える力
2. 考えを相手に伝える力
3. 先を見通す力

I. 7歳の壁とは

7歳とはどういう時期なのか

一般的には小学校へ入学する時期

勉強することが可能になる時期で、教科学習に耐えられるだけの能力が身についている

それまでの育ちの中でどれだけの能力を身につけてきたかが問われる

獲得している能力の中で、何らかのつまずきや遅れがあるとその後の学習に支障を来すようになる

7歳の壁をうまく越えられないと

- 学習に大幅な遅れを見せるようになる
 - ①計算ができない
 - ②教科書が読めない
 - ③字がうまく書けない
- 友達との関係もうまくいかなくなる
 - ①友達とケンカする
 - ②相手にされなくなる
- 先生や家庭でもぎくしゃくした関係が生まれる
 - ①怒られてばかりいる
 - ②やる気をなくする（不登校など）

7歳（小学校入学）までには獲得しておきたい能力

- ①ひらがなは読めてかけること
- ②カタカナは最低でも読めること
- ③短い文を読めること
- ④短い文が書けること
- ⑤家族と会話ができること
- ⑥友達との会話ができること

Ⅱ．就学を控えた子どもの問題点の具体的状況

1．読みの状況

2．書字の状況

3．数の状況

1. 読みの状況

ひらがな等が読めない

ひらがなのイメージ不足

ひらがなの形を覚えるのに苦労する

ひらがなの形と音が一致しない

「し」「も」「ま」を混同してしまう

「わ」「れ」

文を読めない

①言葉の遅れ

ひらがなを見たときに言葉として認識できない

「みかんは、あまずっぱいくだものです。」

通常だと

「みかんは、あまずっぱいくだものです。」

対象児は

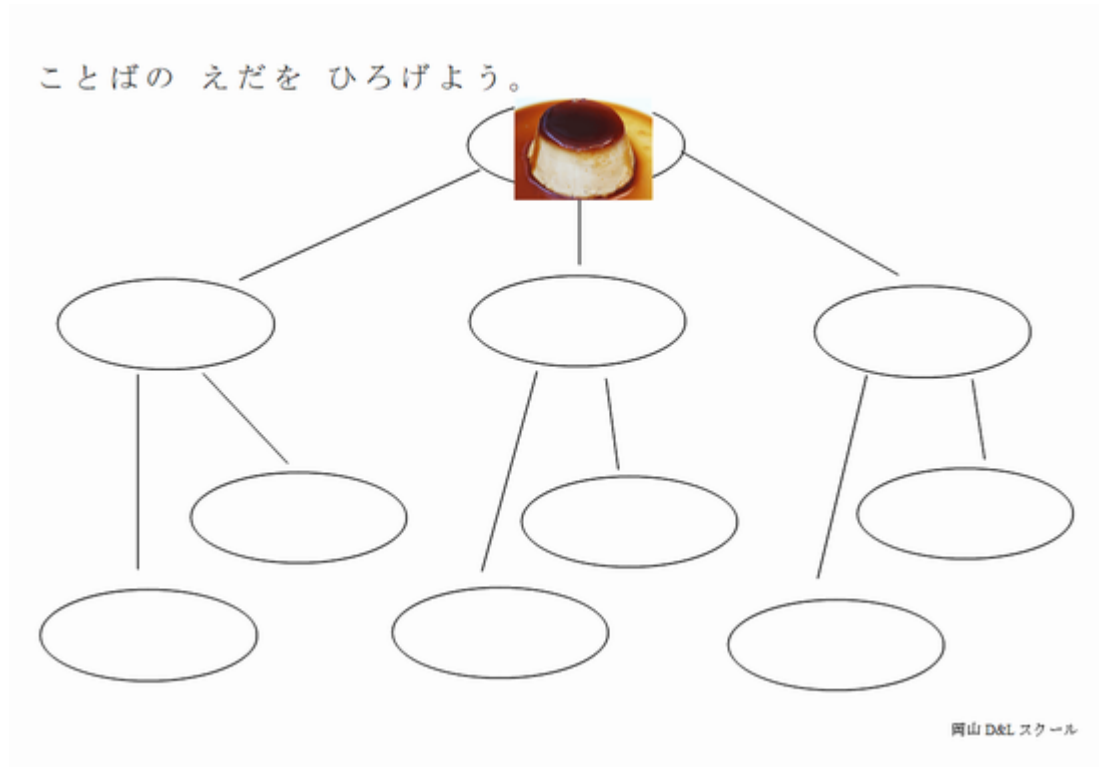
「みかんは、あまずっぱいくだものです。」

②言葉自体は知っていてもそれを説明するのが難しい

例えば「くるま」といったとき

「はしる」「のりもの」「ハンドル」「エンジン」「タイヤ」等「車」に関する言葉が浮かんでこない。


ことばの指導事例 1



ことばの指導事例 2

とけいということばをつかってぶんをつくりなさい。

(とけいは、)
(とけいは、)
(とけいは、)



両山 D&L スクール

- 2 -

見えの問題

「ともろこし」を

「ともころし」

または、

「あき子さんは、学校へ行きました。」を

「あき子さんは、学校へ行きます。」

「眼球の運動を正しくおこなうことができない」

も原因の一つ

見えの問題の指導事例 2

ひだりと おなじに なるように みぎに かきましょう

	◎				□
□				×	
	×				
					○
	×			□	
○			◎		
